



## 南アフリカ共和国 (Republic of South Africa)



- 南アフリカへの援助総額は2014年度までに累計460億円。
- 人材育成、基礎的な社会サービス、社会的弱者への支援を中心に協力を実施。
- 同国は天然資源が豊富であり、同国への支援は日系企業のビジネス環境整備、日本の鉱物資源の安定的確保にも資する。

### 国概要

#### (基礎データ)

- ・ 面積: 122万平方キロメートル
- ・ 人口: 5,477万人 (2015年, 世銀)
- ・ 首都: プレトリア
- ・ 民族: 黒人(79%), 白人(9.6%), カラード(混血)(8.9%), アジア系(2.5%)
- ・ 言語: 英語, アフリカーンス語, バンツ語諸語(ズールー語, ソト語ほか)の合計11が公用語
- ・ 宗教: キリスト教(人口の約80%), ヒンズー教, イスラム教等
- ・ 政体: 共和制
- ・ 議会: 二院制(全国州評議会(上院に相当)90名, 国民議会(下院に相当)400名)
- ・ GDP: 3,128億ドル(2015年, 世銀)
- ・ 一人あたりGDP: 5,691ドル(2015年, 世銀)
- ・ 経済成長率: 1.3%(2015年, 世銀)
- ・ 失業率: 25.5%(2015年, 南ア統計局)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

#### (略史)

1652年	オランダ、ケープ植民地設立
1910年	「南アフリカ連邦」独立
1961年	英連邦から脱退し共和制移行(「南アフリカ共和国」成立)
1991年	アパルトヘイト関連法の廃止
1994年4月	初の全人種参加型の総選挙を実施
1994年5月	マンデラ政権成立
1995年	全人種参加の地方選挙を実施
1997年	新憲法発効

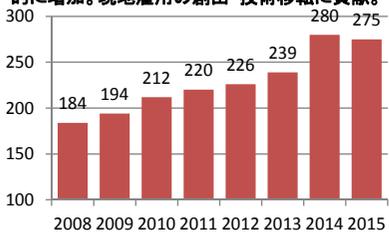
### 援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	201.4億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	136.7億円 (2014年度末時点)
技術協力	122.5億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ105人 (SV: 13人, JV: 92人) 2016年7月時点で15人 (SV: 7人, JV: 8人)

出典: ODA国別データブック2015  
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)  
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

### 南アフリカにおける日系企業進出の推移

アフリカ進出の拠点として進出日系企業数が飛躍的に増加。現地雇用の創出・技術移転に貢献。



### 経済関係

項目	金額／人数(2014年)
日本から南アフリカへの輸出	3254.9億円 (2015年, 財務省貿易統計)
南アフリカから日本への輸出	5983.1億円 (2015年, 財務省貿易統計)
在南アフリカ日系企業数	275社 (2015年10月時点, 外務省統計)

### 人的つながり

項目	人数(直近年)
南アフリカにおける在留邦人数	1,471人 (2015年10月時点, 外務省海外在留邦人数調査統計)
在日南アフリカ人数	1,021人 (2015年12月時点, 法務省在留外国人統計)
南アフリカから日本への留学生数	35名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)
日本から南アフリカへの観光客数	27,504人 (2014年, JNTO統計)

## 日本と南アフリカ共和国との協力年表

年代	案件
1942年	第二次世界大戦により外交関係が断絶
1964年	在ケープタウン出張駐在官事務所設置
1992年	外交関係再開
	在南アフリカ日本大使館開設
1990年初頭	アパルトヘイト政策撤廃後、対南アフリカ初の経済協力(研修員受け入れ及び草の根/人間の安全保障無償資金協力)の導入を実施。1994年の民主政権の誕生後、黒人貧困層の生活改善を基本方針とした「復興開発計画(RDP: Reconstruction and Development Programme)」と経済政策の自由化を基本方針とした「成長、雇用、再分配(GEAR: Growth, Employment And Redistribution)」(1996年)が策定されたことを受けて、日本は本格的な経済協力を開始
1997年	JICA南アフリカ事務所開設
1996年	対南アフリカ初の円借款(クワンデベレ給水事業計画)契約(L/A)調印
1999年	第1回日・南ア・パートナーシップ・フォーラムの開催
2001年	森総理(当時)が日本の総理として初めて南アフリカを訪問 青年海外協力隊員に関する派遣取極締結
2002年	南アフリカへのJICAボランティア派遣が開始
2003年	日・南ア科学技術協力協定締結 TICAD IIIにムベキ大統領(当時)が出席のため訪日
2008年	TICAD IVにムベキ大統領(当時), ズマ外務大臣(当時)が出席のため訪日
2011年	技術協力協定締結
2012年	JICAボランティア派遣開始10周年
2013年	ズマ大統領がTICAD Vに出席及び実務訪問賓客として訪日
2015年	ラマポーザ副大統領が実務訪問賓客として訪日
2016年	ズマ大統領がTICAD VI(於: ナイロビ)に出席



【無償】「ムブラランガ州小・中学校建設計画」  
(2002年12月E/N)



【円借款】「クワンデベレ給水事業計画」(1996年5月L/A)

南アフリカに5名の青年海外協力隊員が着任。



アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ  
(ABEイニシアティブ)  
「修士課程及びインターンシップ」プログラム



【民間連携】  
「廃プラスチック燃料化技術に関する普及・実証事業」



内閣広報室